



2004年2月23日14時

総務部 総務課 古谷、松原、松田  
〒560-0082 豊中市新千里東町1-1-5  
TEL 06-6871-8281 FAX 06-6871-8284  
技術部 建設課 平野、野中、小田  
〒565-0826 吹田市千里万博公園1-8  
TEL 06-6875-5780 FAX 06-6875-3679

## 人にやさしい常設型・乗降用スロープの設置について

大阪モノレールでは、開業当初からエレベータ、エスカレータを全駅に設置するなど、バリアフリー対応の駅舎となっています。

しかしながら、モノレール車両とホームの間には隙間や段差が生じています。このため、車いすの方がご利用の際は、廻りのお客さまの協力や駅備付けの携帯用スロープを使用して係員が補助を行ない、ご乗車頂いています。

この段差、隙間を小さくして、車いすの方が一人でも気軽にご乗車していただけるだけでなく、高齢者や小さいお子様・ベビーカーなどのすべてのお客様にいつでも安心してご利用いただけるよう、平成13年12月から常設型スロープの試験設置を行ってまいりました。

その結果、お客様からも好評で他の駅への設置要望も多数寄せられていることや常設について問題がないことが実証できたことを受け、関係機関とも調整の結果、モノレール全駅に下記のとおりスロープを設置することと致しました。

### 記

設置場所：大阪モノレール全駅のホーム

但し、今回設置工事を行う駅は、試験設置駅を除く13駅となります。これにより、全駅のホームに常設型・乗降用スロープが設置されます。

設置位置：列車内の車いすスペースがある乗降口  
(列車の一番前と一番後の扉の2箇所)

設置のイメージ：別紙のとおり

工事期間：平成16年3月から各駅ごとに設置を行ない、概ね1ヶ月で完成予定。

試験駅での写真：別紙のとおり

試験設置駅：南茨木駅、万博記念公園駅、阪大病院前駅の3駅  
平成13年12月から試験設置を開始しました。

なお、このスロープは、スロープ本体と隙間を小さくする部材の組み合わせにかかる考案について実用新案登録出願中です。

以上

【ニュースリリース配付先】 大阪府府政記者会、青灯クラブ、沿線市関連記者クラブ(豊中記者クラブ、吹田記者クラブ、高槻記者クラブ、枚方記者クラブ)

### 段差解消スロープ

試験設置駅での車椅子の通過の様様  
(本設置では、スロープ表面にすべり止めシートを取り付けます)



試験設置駅での設置状況



### 携帯用スロープ

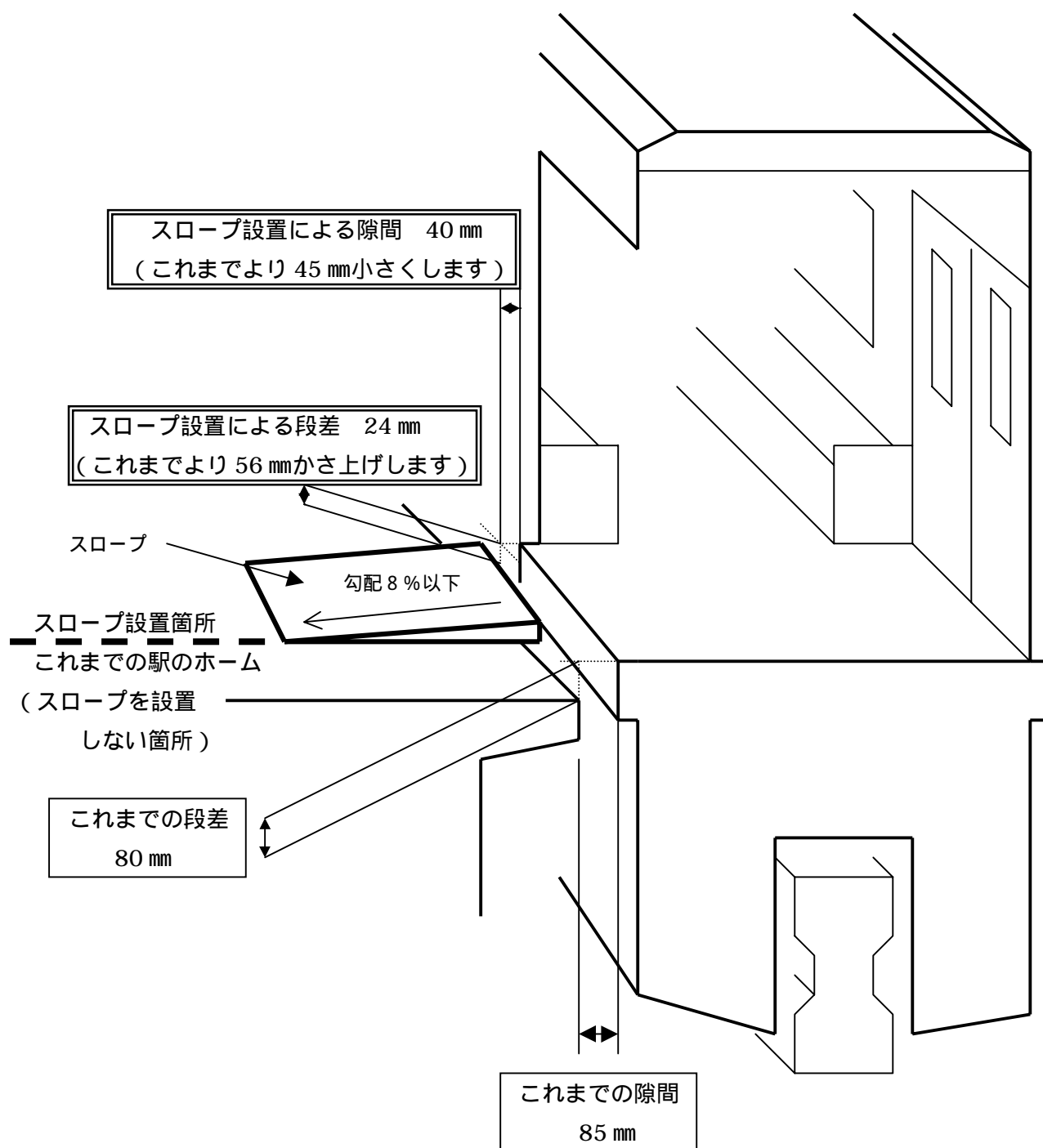
試験設置駅での設置状況



現在の持ち運び式の携帯用スロープ  
現在の持ち運び式の携帯用スロープを設置したところ



## スロープ設置のイメージ



スロープの長さ（ホームから車両まで）は 885 mm、幅は 1790 mm（最大幅 2750 mm）です。

上記の数値（スロープの大きさ、段差、隙間）は、直線ホームの標準的な駅の設計値です。  
このため、駅の形状や施工誤差などにより、実際には若干の差異があります。